

A photograph of a vast, calm sea under a clear blue sky. The water is a deep turquoise color, with gentle ripples across the surface. The horizon is visible in the distance, where the sea meets a bright, clear sky. The overall atmosphere is serene and peaceful.

SINAP Journal

Summer 2015



New SINAP Statement

Designs to [redacted] Grow

デザイン・トゥ・グロー

私たちシナップの新たなチャレンジ

「シナップが新しくなりました!」というとさすがに大きさですが、これまで「The Communication Architects」を掲げていたシナップは、2015年あらたに「Designs to Grow」とテーマを一新し、“成長をデザインするクリエイティブカンパニー”として、新しいチャレンジをはじめました。今号では2015年から始めた新しい取り組みを中心に私たちの近況をお伝えします。

「Designs to Grow」とRIDEメントを一新し、「成長をデザインするクリエイティブカンパニー」として、新しいチャレンジをはじめたシナップ。一体なぜ? そしてどう変わったか、シナップを代表する2人に対談してもらいました。

これらから「プロジェクトに関わってきたんだよね。これまでもそういう相談は頂いていたけど、これからはもっと自覺的にやろうと。明確にみんなの前で、「今後はWebアプリ、orteなどインターネットと繋がるユーザーとの接点す

今年ははじめに社内の全体会議で、この変化の時代に合わせて、自分たちの出来ることを広げる新しい取り組みをしていくこうということを話したんだよね。

大川 「変化」というのはスマートフォンが急速に普及したように、今後はウェアラブルデバイスやー・オトとか、ネットの技術が様々な分野へ急速に広がっていく時代になるということですね。それとともにあって人々のライフスタイルも変わってくるし、既存のサービスやビジネスに変化が起つてきたり、今まで存在しなかったマーケットが産まれたりつてことですよね。

坂西 そう。もともとシナップはインターネットを活用して、新しいビジネスやサービスを生み出そうというクラウドアントと、その全体像を考えると

坂西 現在のように変化の激しい時代には、事前に想像が出来ない事が増えてきていて、従来のウォーター・フォール型のプロジェクトでは、時間がかかりすぎたり、無駄にコストがかつたりと、うまく対応出来ないシーケンスも増えてきたよね。

そうした中で『リーン・スタートアップ』が提唱するような不確実な未来に対し、その不確実性を減少させるアプローチが求められるようになってきて、ビジネスを成長させていくためには、こちらの方が近道だなと思うようになってきた。

大川 もともと僕らはクラウドアント这样一个進めた進め方でやつてきたプロジェクトも多いので、こうしたサービスの構築と継続的な発展への取組みには強みがありますね。

大川 だから方針を大きく変えたと
いうよりは、時代に合わせて制作領
域を広げたということ、その中でも
特に自分たちが価値を発揮できる
サービスの構築と成長支援という立
ち位置を明確にしたという感じです
よね。

それが「Designs to Grow——成長
をデザインするクリエイティブカンパ
ニー」へと標語を変えた理由ですね。
坂西 具体的な行動としては、まず
スタッフの成長あってのシナップなの
で、「**行動指針**」というのを定めて、ブ

スチームと、新しい技術やサービスの開発を行う**R&Dチーム**を作った。R&Dチームはアプリ開発チームと電子書籍サービスを考えているチームの2チーム。

口としての行動を保すことと、ただ決めてただけだとすぐ忘れるのが人間なので、月次面談を行って、常にそのあたりの意識をリマインドしていく。あと、全社的にはビジネスモデル検討能力、課題発見能力の向上のため、に『リーン・スタートアップ』を必須にして、そのリーンを利用したビジネ

坂西 今年に入りてこれらの取組みを始めてから、みんな成長したなあって実感するよ。もちろん、その分仕事を抑えたりして「ストもかけているんだけど、それ以上にみんながんばって、変わってきたなと――。

大川 では最後に一言お願いします。
坂西 え、もう?

大川 みてるよね。
坂西 これ最初、みんな嫌がるかと思つたんですけど、すごく興味深くやついていて、ビジネスマインドの刺激になりましたね。

Grow! という新たなテーマを掲げ
ビジネスやサービスの成長を支援す
るための取組みを積極的に行ってお
りますので、今後ともシナップをご期
待下さい!! と思うのと、もし一緒に
出来ることがあればお気軽にお声が
けください。

行動指針

プロとしての資質

- プロであり続ける
実践主義
準備が成功の9割
すごい実行力
プロセスより結果
仲間の力を引き出す

顧客価値の創出

- 顧客は仲間
NOと言わない
スピード重視



大川 貴裕
取締役 / Creative Director

坂西 裕彰
代表取締役 / Producer

Designs to Grow
私たちシナップの新たなチャレンジ

グロース研究

広範な知識が必要な時代——
提案力のさらなる向上を目指して

スマートフォンやタブレットなどの急速な普及を始め、ウェアラブルデバイスなどの様々なデバイス、注目されるIoT分野の拡大など、近年その領域は私たちの想像を超えるベースで普及し、人々の生活スタイルも大きく変わり始めています。

数年前とくらべても、Webサービスの成長に必要なマーケティングの知識や技術的な知見は広範なものになつており、Webサービス担当者の方もどこから手をつけてよいかお困りのことも多くあるのではないかというふうか。

実際、私たちも抑えておくべき項目が多く、それぞれの専門領域に関してはそれなりに知見はあるものの、ナレッジが個々人に依存し、それらを横断的に意識的に収集し、クライアントのサービスの成長に活用することがなかなかできないという課題がありました。

そこでシナップではこうした変化のスピードが早く、広範な知識が必要な時代の提案力を上げるため社内にグロースチームを結成し、継続的に様々な事例を調査、研究、実践を始めました。

ただの情報収集ではなく実践のともなつたナレッジへ

だの知識としてではなく、経験のともなつたナレッジを蓄積しています。調査、研究の成果は社内のナレッジとして蓄積され、私たちがクライアントに提供するプランニングにも活かしていきますとともに、その一部はシナップのブログなどを通じて積極的に情報発信していくことを考えています。ぜひ定期的にチェックしてみてください。

R&D活動

実際に自分たちで試してみることから始めよう

シナップではこれまでにも、常に新しい情報や技術にアンテナを張り、それらに早い段階から積極的に取り組んできました。

スタートしました。私たちの行動指針には「実践主義」というものがあります。「変化」ができる生きた知見を与えていきます。エラーが実際のプロジェクトで活用できる生きた知見を与えていきます。

私たちがR&Dを行う理由

混乱もおきますが、こうしたトライ&

エラーが実際のプロジェクトで活用

できる生きた知見を与えていきます。

私たちの行動指針には「実践主義」というものがあります。「変化」が来るのをただ待つのではなく、実際に自分たちで試してみることから始めよう。

シナップのR&Dはそんな思いから

シナップのブログではグロース研究の成果を情報発信

シナップのブログではグロース研究で得たサービスの成長に関する様々な知見を定期的に情報発信しています。
ぜひチェックしてみてください!
<http://sinap.jp/blog/>

先進的ワークフローや思考フレームワークなどの実践も

中でも最近話題となつたのは、モーションセンサー「Leap Motion」を使つたハンドベル演奏Webアプリ「Air Bells」です。「複数台のLeap Motion」で音楽のセッションを行つ」とこの二つを組みは世界的にもまだあまり例がなく、その高い技術力は「A very cool project!」とLeap Motion社からじきに評価されたほどでした。こうしていち早く得た知見は、私たちがクリエイティブに取り組んでいます。

プロジェクトでは単に新しい技術を試すばかりでなく、プロトタイピングツールの活用、先進的な制作ワークフローや思考フレームワークの利用など、制作の手法についても試し、多くのフィードバックを社内で共有しています。

人気4コママンガ配信サービス『ツイ4』のアプリ化

私たちのクライアント星海社が手がけるツイッターを利用した人気サービス『ツイ4』のアプリ化をR&Dとして取り組んでいます。これまでのサービスのモデルを崩すことなく、より楽しめるアプリになるようチャレンジ中です。



プラウザで読める電子書籍公開サービス『パン』β版

特別なアプリやプラグインを必要とせず、プラウザベースで閲覧可能にすることで、作品をより多くの人に簡単にシェアできることを目指しています。もちろんスマートフォンにも対応!
<https://pan.press/>



New SINAP Activity

R&D

Growth

サイトをリニューアルしました!
より詳しい活動内容はぜひ私たち
のウェブサイトをご覧下さい。

シナップのサイトが新しくなりました!
『SINAP Journal』今号では語りきれなかつた私たちの新しい取組みやサービスについての情報などより詳しく紹介しています。
ブログも毎週更新しておりますので、ぜひチェックしてみてください!



<http://sinap.jp/>



大槌復興 刺し子プロジェクト
岩手県大槌町の女性たちが取り組む刺し子の手仕事を通じて、女性が働き社会へと繋がる場を作ろうというプロジェクト。コースターやTシャツなどさまざまなものを販売しています。 <http://tomotsuna.jp/>

ソーシャルグッド活動 続く思い。続ける力。

東日本大震災から4年と半年が経ちました。シナップでは、東日本大震災による津波で深刻な被害を受けた岩手県陸前高田市にある酒造メーカー「酔仙酒造株式会社」。おなじく、震災で店舗を失った商店店主が再スタートを誓って集まった「陸前高田未来商店街」のお手伝いをしてきました。

現在も定期的にスタッフが現地へ赴き、地元の方々とお会いして、現場での課題や悩みを聞きながら、私たちの本業であるWeb・ITを活用したコミュニケーション作りを中心に支援を続けています。

震災から3年が過ぎた昨年は、私たちが無償で制作をお手伝いする事が、地元の同業企業様の売上げを奪う事にならないよう、運用などの日頃の業務については、地元の制作会社に引き継ぎを行いました。

現在はコミュニケーション・プランニングなどの面で引き続きお手伝いしています。

一方、シナップでは2014年より岩手県大槌町の女性達が取り組む「大槌復興 刺し子プロジェクト」の支援をはじめました。

「大槌復興 刺し子プロジェクト」は、避難所や仮設住宅の狭い場所でも布と針と糸があればできる刺し子の手仕事を通じて、つくり手の収入や交流の場を生み出し、女性が働き社会へと繋がる場を作り出しています。

コースターやTシャツなどさまざまなものにひと針ずつ針を刺して模様を描き出す東北伝統の刺し子を施した商品の販売をしています。

「復興プロジェクトから大槌刺し子ブランドを確立したい。そのために現地の生産体制やメディア資産を活かした販売施策などの課題を解決したい。」

以前から親交もあったプロジェクト発起人の方からシナップへのご相談をきっかけにプロジェクトはスタートしました。

現在シナップではアクセス解析やSEO面で協力されているGoogleのプロボノ(専門知識を活かしてボランティアで社会貢献する方々)さんと共に、商品のランディングページの作成をしたり、WebやSNSを活用したソリューションのお手伝いしています。

STAFF VOICE

みんなの夏休みが終わった頃に、高知へ移住した友達を訪ねに行ってこようと思ってます！ 週末はこれまでプライベートで作ったものをブラッシュアップしたり、新しいことを学ぶ時間にあてようと思っています。

総務／秘書／広報
小泉 豊佳

印刷会社での営業事務を経験後、Adminスタッフとしてシナップに入社。よく笑い、よく食べ、よく寝るをモットーに日々邁進中。将来の夢はなんでも鑑定団に出ること。日本酒は純米が好き。



デザイナー

富川 路子

大学で美術史を専攻し、きもの業界で店頭販売・和小物の企画営業を経験。デザインをきちんと学びたいと専門学校へ通った後、シナップへ入社。今まで住んだ土地は、三重、東京、静岡、京都、福島。



両親と飛騨あたりへ旅行を計画中です。海外単身赴任が続いている父が帰国したので、今年の夏は帰省＆旅行へ行き、久しぶりに家族と過ごしたいと思っています。プログラミング言語、マシンラーニング、Dockerなど……。

デザイナー

久保田 さや佳

グラフィック・木工・建築・webデザインと広く学び、広告代理店を経てシナップへ。デザイナーとして使いやすさや思いやりのあるデザインを心がけている。デジタルだけでなく、手しごとも好き。



オペレーションエンジニア

池田 達宣

大学で美術史を専攻し、きもの業界で店頭販売・和小物の企画営業を経験。デザインをきちんと学びたいと専門学校へ通った後、シナップへ入社。今まで住んだ土地は、三重、東京、静岡、京都、福島。



大学仲間で行く沖縄旅行が夏の恒例行事。旅程は敢えて事前に決めず、現地で一気にプランを立てて実行するので仲間との一体感が毎回楽しいんです。沖縄のゆっくりした時間と青い海を満喫してリフレッシュします！

デザイナー

飯山 嘉之

大学でマスコミュニケーションを専攻し、音楽エンタメ会社で経営企画・宣伝販促・営業職を経てシナップへ入社。グラフィックを中心にUI/UXを担当。デジタルインスタレーションに傾倒し、草野球やボルダリング、綱ノリ音楽を好むデザイナー。



海！海！海！と言いたいところですが、焼き過ぎるとえらいことになるので、1回だけ行って地味に遠泳します。夏の前半は花火やお祭など夏らしい行事が満載ですが、後半は残暑に耐えるのみですね。

ディレクター

鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。



毎年恒例、祖母の住む別府で温泉めぐり。別府八湯と申しまして、海も山もある別府には、まったく泉質のちがう温泉郷が沢山あります。またにペランダ植栽の土いじりと害虫対策。夏休み中の甥っ子や姪っ子達に遊ばながら、どこか近場の温泉でさっぱりしたいものです。

UI/Ixデザイナー

松島 智

コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後シナップへ。特に文章を読むためのUI/Ixデザインで受賞含む高評価を得ている。個人ではBIBプロジェクト運営のほか電子出版分野に注力、イベントでは歌もうたう。別府への移住を目論む温泉好き。



夏のテニスはなかなか辛いのですが…毎週頑張っています。たまにペランダ植栽の土いじりと害虫対策。夏休み中の甥っ子や姪っ子達に遊ばながら飲むコダワリのコーヒーと、下山後のビールが最高です！

デザイナー

小茅 奈美

テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。



週末は近場の低山や渓谷、ときどき北アルプスなどに登山・トレランに行ってます。景色のよいところでひとやすみしながら飲むコダワリのコーヒーと、下山後のビールが最高です！

取締役

大川 貴裕

多くのWebサイトをはじめ、企業のブランドデザイン、CI/VI開発、グラフィックデザインなど幅広い分野で活躍している。国際的なデザインコンペティション受賞の他、国内外での受賞多数。生粋のハマっ子。



私は夏がくると秋が待ち遠しくなります。私は常秋の国に住みたいので、夏は海や山など遠出はせず、秋の風情のある夕焼け、秋の冷いた風を待ち焦がれます。それが私の夏の過ごし方です。

パートナー

カネダ ヨシアキ

都内在住のプロジェクトマネージャー。フリーランスWebディレクター。プロジェクトマネジメントを基盤とした進行管理や、サイトとユーザのエンゲージメント施策のコンサルティングなどを請け負っている。—Pictask(ピクタスク)

自宅から2分の小仏川で川遊びしたり高尾山に登ったり地元を満喫します。今年の裏高尾は燕がたくさん。我が家にも燕の巣ができました。彼らのおかげで蚊が皆無！ 木陰の川縁で快適に過ごせます。

パートナー

石田 智之

広義のデザイナー。情報設計からフロントエンドまでカバーできるが、SINAPでは主に情報設計を担当。Webの仕事をはじめてもうすぐ20年。高尾山の麓在住、週末は自転車で道志・奥多摩へ。

酷暑日が多くなりそうな2015年の夏。クーラーの効いた室内も良いですが、やはりここは熱を以て熱を制す！ タイ出張時に知った夏バテに効果ありのタイ鍋とアルコールで、元気に夏を乗り切りたいと思います。

パートナー

大崎 誠

フリーランスのWeb系プロジェクトマネジャー。制作会社、Slrでの勤務を経て2006年に独立。以降、様々なWeb系案件のプロジェクトマネジメントや運用コンサルティング業務に従事しながら、後進指導としての講師業も行う。—d-three(ディースリー)

初の北海道旅行と、2度目のニューヨークへの旅行を計画中です。他に、ボランティアイベントへの参加や、東京に遊びに来る姪っ子たちをおもてなしたり、仕事を疎かにしないように夏を楽しみたいと思います。

パートナー

山本大地

ECサイト関連の制作会社を経てシナップへ入社。感性と理性の融和から生まれる新しい何かを探し続けるエンジニア。開発中は、ひらめくことが何よりの喜び。週末は科学館でボランティアをしていると、もっぱらの噂。ゲームがないと生きていけない体质。

特に大きな予定は立ててないです。帰省もせずに日差しを避けて読書してるかな…。最近物を作る方から遠ざかってるので、何か作ったりしたいです。

フロントエンドエンジニア

村山 貴裕

地元の制作会社を退職後シナップに入社。伴って上京してきた新潟人。現場叩き上げのスキルでマークアップやCMSでの実装を行うエンジニア。休日は自宅でマンガゲームの量産型草食系。辛い食べ物は苦手。

夏休みシーズンは音楽系のイベントが多くて楽しいですよね。アイドルからバンドまで色々な音楽フェスに行くつもりです。あとビアガーデンとかBBQとか、夏らしい場所でお酒を飲みたいと思います。

ディレクター

三國 翼

制作会社数社を経てシナップへ入社。猫とガジェットとアイドルが好きなディレクター。主に新規案件の企画・設計部分を担当。「むずかしい」を「かんたんに」を目標にこれからも頑張ります。

夏といえば夏フェスの季節ですね。暑いのが苦手なので夏は嫌いなのですが、こればかりは行くべきなんですね。年齢とともに体力が低下する一方なので参加するフェスの数は減るもの、今年も参戦してきます！

フロントエンドエンジニア

野原 由貴

広範囲なスキルを持ち、デザインも実装もこなす頼れる存在。のんびりした印象の中にシャープな実務能力を秘める。カレーとロックフェスが好き。半分東北人。

夏といえば海です！ 今年は新しいサーフボードを買ったので、毎週末海に通いたいと思っています。サーフィン後は、昼間からお酒を飲んで美味しいものを食べて、のんびりゆるりと過ごします。

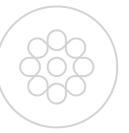
ディレクター

内藤 万弓

イギリスの大学院に留学、帰国後にシナップへ入社。複数の新規案件を受け持つ傍ら、安定した運用・改善もこなす重要なディレクター。海と町田が好き。



SINAPSERVICE



新規事業 サービス構築支援

シナップではこれまで多くのクライアントからビジネスプランをアイデアレベルでお話いただき、私たちの持つサービス開発の経験、ITに関する知識を活かし、クライアントと話し合いながら、そのプランを一緒に考えて、具体化してきました。抽象的なアイデアを具体的なアイデアに落としていくミーティングのファシリテーション、競合調査、ペルソナの策定、リーンキャンバスを用いたビジネスプランの検討など、そのアイデアが形になるお手伝いをします。

継続的な グロース支援

シナップではリーンスタートアップやデザイン思考、アジャイルプロセスなどと共にする迅速に仮説検証を繰り返し、不確実性を排除するアプローチで改善のお手伝いをしています。また社内にはビジネスを成長させ続けていくために、様々なテーマに沿って知見を深めていく事例研究グループであるグロースチームがあり、そのナレッジはクライアントへの提案に活かされています。

制作 開発支援

デザイン・開発能力だけでなく、品質管理能力やプロジェクト管理能力の高さもシナップの強みです。私は自分達の考えたプランを実現する高い制作・開発能力と、遅滞なくプロジェクトを進行し適切な品質を担保する能力を有しています。社内外の様々なプロジェクトを通して蓄積された経験やR&Dなど先進的な技術に関する取り組みも結果も、積極的にクライアントワークに還元しています。

先端 テクノロジー

シナップでは社内のR&Dを始めとして、新しい技術分野や手法に積極的に取り組んでいます。技術分野では、高度なWebアプリケーションの開発、スマートフォン、タブレットデバイス向けのアプリサービス開発、モーションセンサー、ウェアラブルデバイスなどのセンサーデバイスの活用、IoT分野の開発サポートなどをっています。

<https://www.facebook.com/sinapinc>

@sinapinc

info@sinap.jp

<http://sinap.jp/>



『SINAP Journal Summer 2015』電子書籍版を『パン』β版に掲載しています。本誌『SINAP Journal Summer 2015』は私たちのR&Dで行っているブラウザで読める電子書籍公開サービス『パン』β版にも掲載しています。ぜひ電子書籍版もご覧いただき、「パン」β版をご体験ください。
PC / スマートフォン：<http://sinap.jp/SJ15>

